

土壌病害研究シンポジウム

微生物機能を活用した 自然共生型農業への探求

＜開催趣旨＞

本シンポジウムでは、世界的にも重要な土壌病害の1つであるジャガイモそうか病を中心として、土壌病害研究を活発に展開している国内の中心的な科学者を招待し、土壌病害の診断や防除のための新しい技術の開発の現状や可能性について紹介して頂く。同時に、内閣府の主催する戦略的イノベーション創造プログラム（「次世代農林水産業創造技術」・『持続可能な農業生産のための新たな総合的植物保護技術の開発』）における「ジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」ユニットの研究成果の報告と今後の日本における持続的農業の発展と国際競争力の強化に資することを目的とする。

日時：平成27年11月5日（木）13:00～17:30（開場12:00～）

場所：長島町開発総合センター

鹿児島県出水郡長島町鷹巣1877-3

電話：0996-86-1311

参加費無料、定員250名

第1部 招待講演 13:15～15:30

1. 「土壌病防除のための植物根・土壌の健全性診断法開発の試み」

秋田県立大学生物資源科学部・教授 古屋 廣光 氏

2. 「ジャガイモそうか病の総合的防除法開発への挑戦～北海道網走での研究から～」

東京農業大学生物産業学部・教授 吉田 穂積 氏

3. 「土壌中の微生物間ネットワークの理解と土壌評価法」

鹿児島大学農学部・教授 境 雅夫 氏

第2部 戦略的イノベーション創造プログラム「ジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発ユニット」成果報告 15:40～17:30

1. 「九州におけるジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」

鹿児島県農業開発総合センター・研究専門員 富濱 毅 氏

2. 「北海道におけるジャガイモそうか病防除のための新規資材の探索」

北海道農業研究センター・研究員 浅野 賢治 氏

3. 「有機物資源の循環を通じた微生物制御による土壌病害防除技術の開発の試み」

片倉チッカリン(株)・主任研究員 三星 暢公 氏

主催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター

共催：長島町（鹿児島県）

参加申込み・問い合わせ先

北農研・大規模畑作研究領域・主任研究員・池田成志

〒082-0081 北海道河西郡芽室町新生南9線4番地

TEL：0155-62-9276、FAX：0155-61-2127

E-mail：siked67@affrc.go.jp

